



飯能グリーンプロジェクト

略称
HGP

準備号

坂井えつこ

子育て世帯を支援し、地域全体で 子どもの見守りができる仕組みを。

子育て世帯は、勤労、在宅、ひとり親といったそれぞれの状況に応じた行政の支援が必要です。

しかし、それぞれの方方で保育所がない、保育所にばかり税金が使われている、子供が朝急な発熱で事前の病児予約がなく職場に申し訳ない、そういったニーズ多様化に対応が必要です。飯能市ではどれだけのことができているのでしょうか？まだ高額な事業を行う前に、できることがあるのではないのでしょうか？

 保育所対策

保育所対策は、幼稚園の認定こども園化が有効とされますが、設備のキッチン確保等大規模設備改修や床面積の確保、運営組織の見直しなど、手間がかなりかかる状況で、短期の目標というよりも、数年スパンでの対応が可能かどうかというものです。進めるべきですが、早々の解決は困難です。

短期でできるものは、保育定数の弾力化です。

茅ヶ崎市では、保育士確保が大変な保育園新設や、認定こども園化を進めるよりも安く早いものとして、リフォームで部屋の非構造壁を取り外し、可動間仕切りと可動押し入れ（背が低いもの）に変更して、保育面積要件を満たし、定数増を進めています。

杉並区でも同様に建築士会が敷地の空きスペースや屋上に増築、低利用の事務室やホールを保育室に転用、水回りの設備を集約、収納場所をとらない寝具に変更し収納撤去が提案されました。

既存の保育園で各10名の定員を増やすことができれば、全体では相当多くの定員が確保でき、他自治体からの生産年齢人口転入増も図れます。これは飯能市でも調査、実施してよいと思います。工事は安価に短期間であつという間に定数増、一時保育枠も追加できます。

ベビーシッター会社に協力を求め、保育ママを誘致するのもいいですね。

 在宅子育ての方

在宅子育ての方には、税金の公平な配分ということで、保育クーポン（バウチャー）配布制度が提案できます。

市の制度以外で費用の掛かる子育てについて、補助券または引換券となるものです。

各家庭で選択ができず、使わないところに税金が支出されている家庭の課題が解決されます。杉並区等実施されている子育て応援券が先進例です。就学前の子供向けのサービスが自由に選べるというものです。

内容は大きくくりで、ふれあいサービス、親へのサポートサービス、預けるサービス、任意予防接種等々、民間含め利用可と便利です。

習い事や、家事援助等使えるようにすることで、杉並では、民間が選んでもらえるよう頑張り、サービスがかなり良いそうす。

民間による子育て世帯支援が進みます。就学後にもこれがあると、塾や習い事をうけ、充実した教育の提供につながりますね。

ひとり親の方

ひとり親の方には、ベビーシッターの民間企業を活用した、支援制度があげられますね。

現状もファミリーサポートセンターがありますが、まだまだ飯能市においては他自治体に比べて利用しやすいとはいえません。

ホームページに最新情報もなく、新規の申し込みも敷居が高く、さらに利用者とサービス提供者の割合もいびつになっており、税金が有効活用できていません。全国平均では、利用者が7割強、提供者が2割弱（兼務含む）ですが、飯能市では、利用者が6割強とやや少なく、即応性を求めるニーズにマッチできていない可能性があります。

それは、なぜでしょうか？

飯能市のファミリーサポートセンターの開示チラシ（古いですが）では、保育施設の開始前や終了後の預かり、保育施設までの送迎、放課後の預かり、小学生の送迎、冠婚葬祭や買い物行事の際の預かり、習い事などの援助その他と多くの分野に対応かどうか外部に伝わりにくくなっています。

しかし、全国調査ではほかにも利用目的が合わせて2割を超えるものがあります。

列挙すると、買い物等外出の際の子どもの預かり、保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）病気、急用等の場合の援助、障がいを持つ子どもの預かり・送迎など、学校、幼稚園、保育所の休みのときの預かり及び援助、産前・産後の育児援助等があり、もっと利用率を上げる努力が必要ではないでしょうか。

他自治体では、運営業者をNPOからノウハウのあるベビーシッター運営企業を含む、民間企業に変えた

ところも増えてきて、子育てニーズに即応した体制作りが強化されています。企業で働く世帯は福利厚生制度で、企業の補助券もあり、これが大々的に使えるようになれば、さらに利用率が上がると思います。提供回数が増えれば、サービスを提供する市民ボランティアの方にも、安定した補助収入になっていきます。

前述の保育のバウチャーやクーポンと合わせて、費用負担を抑えつつ、保育所と連携した通常保育にも乗り出し、子育てと教育でえられる街「飯能」にしたいですね。

代表 坂井えつこ

**飯能グリーンプロジェクト(略称HGP)では、
昨年末に後援会組織を立ち上げました。
応援いただける方を大募集しております。**

- チラシ配り
- 各駅の駅頭での政治団体活動
- ご友人の紹介
- 飯能に必要な改革の提案

何でもご連絡いただけますと幸いです。皆さんのお力が、飯能市、飯能市議会の改革に必ずつながります。

連絡先

飯能市川寺583-7
飯能グリーンプロジェクト(HGP)宛
<http://sakaietsuko.net>
info@sakaietsuko.net

HANNO Green Project 

坂井えつこプロフィール



神戸市生まれ育ち／かに座／AB型／団塊の世代ジュニア／龍谷大学哲学科卒業

女子高教諭／国語科←JKではなくコギャルの時代

ラジオパーソナリティ／キャスター・レポーター お祭り中継／町おこしプロジェクト

株式会社リラクティブライフ／女性のアクティブとリラクゼーションライフを応援！

Beauto飯能スタジオ／女性だけのフィットネス／ビュート10周年／美容健康サロン

『女性スタッフの人間関係に困ったら読む本』出版

風呂好き長風呂／岩盤浴／読書／アロママッサージ／ストレッチ／コアトレーニング

女性起業塾／小池百合子政経塾1期生

娘（小学生）／サビ（野良猫を保護）

好きな言葉「梅雨明け宣言」「笑う門には福来る」